

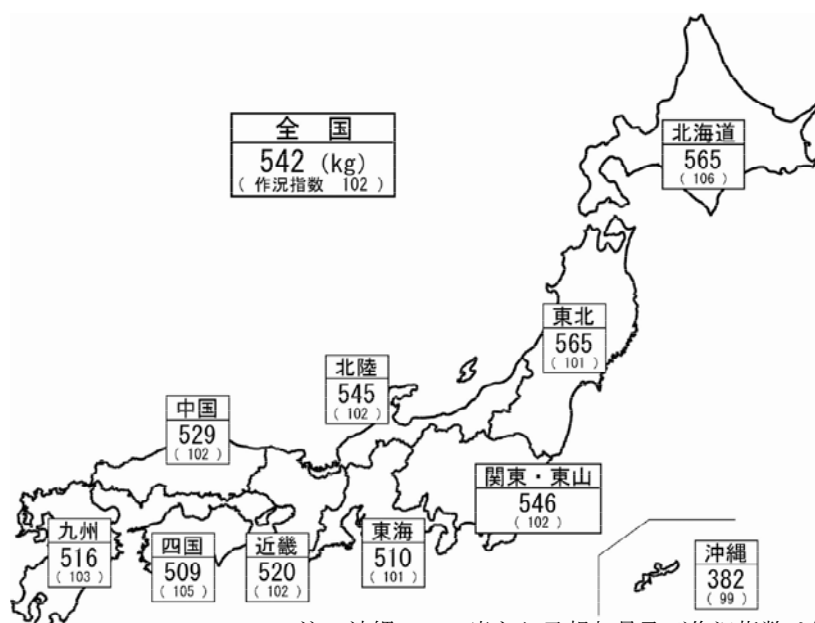
平成20年産水稻の作付面積及び 9 月15日現在における作柄概況

- 水稻の作付面積は前年産に比べて 2 % 減少の見込み —
10 a 当たり予想収量は542kg(作況指数102)の見込み

【調査結果の概要】

- 1 平成20年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は163万7,000haで、前年産に比べて4万1,000ha（前年産対比2%）の減少が見込まれる。
うち、主食用作付見込面積は、159万7,000haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、北海道の一部及び東北の一部で8月中下旬の低温等の影響がみられたものの、総体的にはおおむね天候に恵まれ、生育・登熟はおおむね順調に推移していることから、全国の10 a 当たり予想収量は542kg（作況指数 102）が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は864万7,000 tが見込まれる。

図 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（9月15日現在）



注：沖縄の10 a 当たり予想収量及び作況指数は第一期稲である。

- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。
【<http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/suitou-sakugara20080915/suitou-sakugara20080915.xls>】

【関連するデータ、情報】

◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための基礎資料
- ・ 集荷円滑化対策において、過剰米数量算出の必要性の判断及び豊作時の過剰米数量算出のための基礎資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の策定及び達成状況の確認のための基礎資料
- ・ 農業災害補償法に基づく農作物共済事業において共済基準収穫量算定のための基礎資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料

◎関連データ

累年表

水稻の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当たり 平年収量
	ha	うち、子実用 ha				
昭. 53	2 532 000	2 516 000	499	12 546 000	108	460
54	2 482 000	2 468 000	482	11 898 000	103	466
55	2 374 000	2 350 000	412	9 692 000	87	471
56	2 281 000	2 251 000	453	10 204 000	96	474
57	2 261 000	2 230 000	458	10 212 000	96	477
58	2 270 000	2 246 000	459	10 308 000	96	478
59	2 300 000	2 290 000	517	11 832 000	108	479
60	2 326 000	2 318 000	501	11 613 000	104	481
61	2 292 000	2 280 000	508	11 592 000	105	484
62	2 148 000	2 123 000	498	10 571 000	102	487
63	2 109 000	2 087 000	474	9 888 000	97	490
平. 元	2 093 000	2 076 000	496	10 297 000	101	492
2	2 071 000	2 055 000	509	10 463 000	103	494
3	2 046 000	2 033 000	470	9 565 000	95	497
4	2 099 000	2 092 000	504	10 546 000	101	498
5	2 131 000	2 127 000	367	7 811 000	74	499
6	2 201 000	2 200 000	544	11 961 000	109	499
7	2 110 000	2 106 000	509	10 724 000	102	501
8	1 980 000	1 967 000	525	10 328 000	105	502
9	1 950 000	1 944 000	515	10 004 000	102	504
10	1 800 000	1 793 000	499	8 939 000	98	507
11	1 786 000	1 780 000	515	9 159 000	101	512
12	1 768 000	1 763 000	537	9 472 000	104	518
13	1 711 000	1 700 000	532	9 048 000	103	518
14	1 693 000	1 683 000	527	8 876 000	101	522
15	1 670 000	1 660 000	469	7 779 000	90	524
16	1 704 000	1 697 000	514	8 721 000	98	525
17	1 709 000	1 702 000	532	9 062 000	101	527
18	1 692 000	1 684 000	507	8 546 000	96	529
19	1 678 000	1 669 000	522	8 705 000	99	529

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「作物統計」

【調査結果】

- 1 平成20年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は163万7,000haで、前年産に比べて4万1,000ha（前年産対比2%）の減少が見込まれる。

これは、他作物への転換等があったことによる。

なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は、159万7,000haが見込まれる。

- 2 9月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、穂数はやや少なくなったものの、穂数減による補償作用に加え、もみ数型の「ななつぼし」の面積割合が増加したこと等により、もみ数は多くなった。登熟は、8月中下旬の低温等の影響により一時緩慢となったものの、9月に入り高温・多照で経過したことから、10a当たり予想収量は565kg（作況指数106）が見込まれる。

東北では、太平洋側を中心に、8月中下旬の低温・日照不足の影響により登熟が緩慢となったものの、その後、高温・多照に推移したことから、10a当たり予想収量は565kg（同101）が見込まれる。

関東以西では、5月から6月にかけて低温・日照不足に推移したものの、その後の天候は良好に推移したことから、北陸は10a当たり予想収量545kg（同102）、関東・東山は546kg（同102）、東海は510kg（同101）、近畿は520kg（同102）、中国は529kg（同102）、四国は509kg（同105）、九州は516kg（同103）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は542kg（同102）が見込まれる。

- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は864万7,000tが見込まれる。

表 平成20年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量（作況指数）
（全国農業地域別）

全国農業地域	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)			10 a 当たり 予想収量 ①	参 考			
	前 年 産 と の 比 較		主食用作付 見込面積 ②		予想収穫量 (主食用) ③＝①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤＝①／④	
	対 差	対 比						
	ha	ha	%	kg	ha	t	kg	
全 国	1 637 000	△ 41 000	98	542	1 597 000	8 647 000	530	102
北 海 道	114 600	△ 1 500	99	565	110 900	626 600	534	106
東 北	419 400	△ 16 400	96	565	406 900	2 299 000	558	101
北 陸	211 100	△ 5 100	98	545	201 700	1 100 000	532	102
関東・東山	302 100	△ 8 300	97	546	297 300	1 622 000	534	102
東 海	106 000	△ 1 600	99	510	104 600	533 600	504	101
近 畿	111 100	△ 2 200	98	520	109 900	571 600	508	102
中 国	117 800	△ 1 700	99	529	116 600	616 600	517	102
四 国	58 400	△ 400	99	509	58 300	296 500	484	105
九 州	195 800	△ 4 100	98	516	189 600	978 100	502	103
沖 縄	687	△ 8	99	382	...	...	384	99

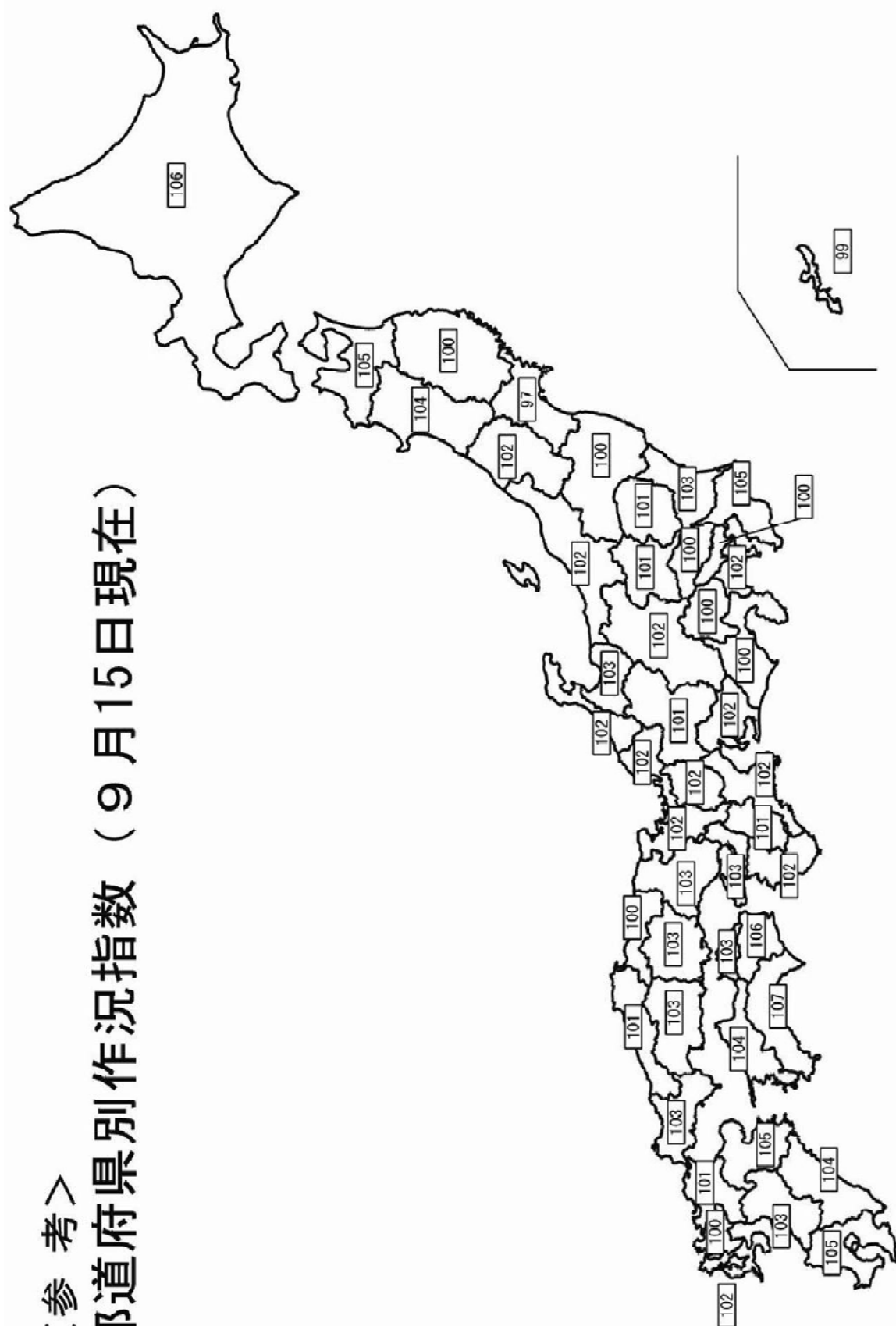
注：1 青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

2 沖縄は第一期稲である。

3 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）である。

4 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

△ 物 △



注1：徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。

2: 沖縄県の作況指数は第一期稲である。

統 計 表

【目次】

ページ

- 1 平成20年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在) 6
- 2 平成20年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月15日現在) 8

【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1,000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数 (下から)		3けた	2けた		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中の「△」は、減少したものを示す。

1 平成20年産水稻の作付面積、10a

全 国 ・ 都道府県		作 付 面 積 (青刈り面積を含む)	前 年 産 と の 比 較		10a当たり 予想収量 ①	(参 主食用作付見込面積 ②
			対 差	対 比		
		ha	ha	%	kg	ha
全 国	1	1 637 000	△ 41 000	98	542	1 597 000
北 海 道	2	114 600	△ 1 500	99	565	110 900
青 森	3	49 400	△ 2 800	95	607	47 700
岩 手	4	57 000	△ 1 700	97	535	55 100
宮 城	5	73 400	△ 3 900	95	516	70 800
秋 田	6	89 600	△ 4 900	95	594	86 800
山 形	7	68 300	△ 2 000	97	607	65 600
福 島	8	81 700	△ 1 100	99	538	80 900
茨 城	9	77 900	△ 700	99	536	76 400
栃 木	10	64 000	△ 3 500	95	544	62 500
群 馬	11	18 500	△ 500	97	499	18 100
埼 玉	12	35 900	△ 1 200	97	493	35 600
千 葉	13	62 300	△ 700	99	559	61 800
東 京	14	187	△ 1	99	407	187
神 奈 川	15	3 230	△ 50	98	498	3 230
新 潟	16	118 100	△ 3 200	97	551	111 600
富 山	17	39 700	△ 900	98	552	38 300
石 川	18	26 400	△ 400	99	527	25 600
福 井	19	26 900	△ 600	98	529	26 200
山 梨	20	5 320	△ 210	96	548	5 270
長 野	21	34 700	△ 1 500	96	633	34 100
岐 阜	22	25 100	△ 400	98	491	24 800
静 岡	23	18 200	△ 200	99	523	18 000
愛 知	24	31 400	△ 500	98	516	31 100
三 重	25	31 300	△ 500	98	512	30 700
滋 賀	26	33 300	△ 700	98	529	32 700
京 都	27	15 800	△ 300	98	522	15 700
大 阪	28	5 850	△ 360	94	508	5 850
兵 庫	29	38 900	△ 400	99	517	38 400
奈 良	30	9 510	△ 240	98	520	9 500
和 歌 山	31	7 730	△ 160	98	505	7 730
鳥 取	32	14 200	△ 100	99	515	14 000
島 根	33	19 500	△ 500	98	514	19 200
岡 山	34	33 800	△ 500	99	543	33 500
広 島	35	26 400	△ 500	98	538	26 000
山 口	36	23 900	△ 100	100	519	23 900
徳 島	37	13 900	△ 100	99	504	13 900
〔早期栽培	38	5 350	90	102	488	…
〔普通栽培	39	8 550	△ 190	98	514	…
香 川	40	15 200	200	101	512	15 200
愛 媛	41	15 700	△ 300	98	520	15 700
高 知	42	13 600	△ 200	99	493	13 600
〔早期栽培	43	8 030	△ 180	98	509	…
〔普通栽培	44	5 560	△ 10	100	470	…
福 岡	45	40 000	△ 300	99	506	39 200
佐 賀	46	26 900	△ 1 200	96	528	26 700
長 崎	47	14 300	△ 300	98	485	14 300
熊 本	48	41 900	△ 900	98	532	39 300
大 分	49	25 200	△ 900	97	527	24 800
宮 崎	50	22 300	△ 200	99	515	20 300
〔早期栽培	51	9 630	△ 140	99	505	…
〔普通栽培	52	12 700	△ 100	99	523	…
鹿 児 島	53	25 200	△ 200	99	502	24 900
〔早期栽培	54	6 190	△ 180	97	467	…
〔普通栽培	55	19 000	0	100	514	…
沖 縄	56	1 010	△ 10	99	…	1 010
〔第一期稲	57	687	△ 8	99	382	…
〔第二期稲	58	324	△ 3	99	…	…

注：1 青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

2 沖縄県平均の10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、沖縄県計の予想収穫量（主食用）の算出には10a 当たり平年収量を用いた。

3 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む) から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）である。

当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

考			穂数の多少	1穂当たりの もみ数の多 少	全もみ数の 多 少	登熟の良否	全 国 ・ 都道府県
予想収穫量(主食用) ③=①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=①/④					
t	kg						
8 647 000	530	102	…	…	…	…	1
626 600	534	106	やや少ない	多い	多い	平年並み	2
289 500	580	105	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	3
294 800	533	100	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み	4
365 300	530	97	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	5
515 600	573	104	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	6
398 200	594	102	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	7
435 200	537	100	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	8
409 500	520	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	9
340 000	539	101	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	10
90 300	494	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	11
175 500	495	100	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	12
345 500	531	105	平年並み	やや多い	やや多い	やや良	13
761	408	100	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	14
16 100	486	102	やや多い	やや多い	やや多い	やや不良	15
614 900	539	102	やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	16
211 400	535	103	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	17
134 900	517	102	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	18
138 600	517	102	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	19
28 900	547	100	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	20
215 900	623	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	21
121 800	488	101	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	22
94 100	523	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	23
160 500	507	102	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	24
157 200	500	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	25
173 000	518	102	やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	26
82 000	511	102	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	27
29 700	493	103	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	28
198 500	504	103	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	29
49 400	513	101	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	30
39 000	493	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	31
72 100	517	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	32
98 700	509	101	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	33
181 900	526	103	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	34
139 900	523	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	35
124 000	504	103	やや多い	やや多い	やや多い	やや不良	36
70 100	474	106	…	…	…	…	37
…	463	105	やや少ない	やや多い	やや少ない	良	38
…	480	107	平年並み	やや多い	やや多い	やや良	39
77 800	499	103	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み	40
81 600	498	104	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	41
67 000	459	107	…	…	…	…	42
…	478	106	少ない	やや多い	平年並み	良	43
…	432	109	多い	平年並み	多い	平年並み	44
198 400	499	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	45
141 000	528	100	平年並み	平年並み	やや少ない	やや良	46
69 400	474	102	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	47
209 100	515	103	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	48
130 700	503	105	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	49
104 500	493	104	…	…	…	…	50
…	475	106	やや少ない	やや多い	平年並み	良	51
…	507	103	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み	52
125 000	479	105	…	…	…	…	53
…	439	106	やや少ない	平年並み	やや少ない	良	54
…	492	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	55
3 120	309	…	…	…	…	…	56
…	384	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	57
…	…	…	…	…	…	…	58

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別の主食用作付見込面積は、作期別に加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

2 平成20年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

都 道 府 県	出 穂 期								刈取済面積 割 合	
	始 期		最盛期		終 期		最盛期の比較			
							対平年	対前年		
	月	日	月	日	月	日			%	
北 海 道	7.	28	8.	2	8.	8	並 み	3日遅	1	
青 森	8.	6	8.	8	8.	13	並 み	3日遅	0	
岩 手	8.	5	8.	8	8.	14	1日早	並 み	0	
宮 城	8.	5	8.	8	8.	12	並 み	並 み	0	
秋 田	8.	2	8.	5	8.	10	1日早	1日遅	0	
山 形	8.	4	8.	9	8.	15	1日遅	並 み	0	
福 島	8.	5	8.	13	8.	19	1日早	2日早	0	
茨 城	7.	26	8.	5	8.	14	並 み	2日遅	49	
栃 木	7.	29	8.	5	8.	18	2日早	1日早	6	
群 馬	8.	11	8.	25	9.	1	2日遅	4日遅	0	
埼 玉	7.	27	8.	13	8.	29	並 み	1日早	29	
千 葉	7.	19	7.	30	8.	8	1日遅	2日遅	94	
東 京	8.	10	8.	15	8.	30	3日早	4日早	0	
神 奈 川	8.	5	8.	12	8.	20	1日早	1日早	0	
新 潟	7.	31	8.	9	8.	16	並 み	2日早	20	
富 山	7.	22	8.	3	8.	10	4日早	8日早	51	
石 川	7.	21	8.	1	8.	5	2日早	6日早	81	
福 井	7.	21	7.	28	8.	9	5日早	7日早	90	
山 梨	8.	5	8.	13	8.	23	並 み	2日早	3	
長 野	8.	2	8.	8	8.	16	2日早	4日早	4	
岐 阜	7.	22	8.	19	9.	1	並 み	2日早	24	
静 岡	7.	24	8.	12	8.	30	2日早	2日早	37	
愛 知	7.	23	8.	16	8.	31	1日早	3日早	31	
三 重	7.	15	7.	23	8.	4	3日早	5日早	89	
滋 賀	7.	28	8.	3	8.	17	並 み	3日早	40	
京 都	7.	27	8.	7	8.	18	2日早	5日早	38	
大 阪	8.	1	8.	21	8.	30	1日早	1日早	7	
兵 庫	7.	30	8.	12	8.	25	2日早	4日早	31	
奈 良	8.	1	8.	22	8.	29	2日早	3日早	12	
和 歌 山	7.	17	8.	7	8.	23	1日早	1日早	39	
鳥 取	7.	27	8.	6	8.	17	3日早	5日早	24	
島 根	7.	21	8.	2	8.	18	3日早	5日早	55	
岡 山	7.	23	8.	17	9.	5	4日早	4日早	23	
広 島	7.	23	8.	5	8.	19	4日早	7日早	38	
山 口	7.	28	8.	8	8.	28	4日早	6日早	47	
徳 島	〔早期栽培 普通栽培〕	7.	6	7.	16	7.	26	1日遅	1日早	100
		7.	17	8.	2	8.	23	2日早	3日早	65
香 川		7.	21	8.	20	9.	1	2日早	2日早	35
愛 媛		7.	14	8.	11	8.	29	3日早	3日早	45
高 知	〔早期栽培 普通栽培〕	6.	29	7.	6	7.	15	1日遅	1日早	100
		8.	12	8.	18	9.	1	3日早	5日早	2
福 岡		8.	1	8.	23	9.	5	並 み	並 み	17
佐 賀		7.	21	8.	26	9.	10	1日遅	2日遅	10
長 崎		7.	16	8.	26	9.	6	1日遅	3日遅	16
熊 本		7.	10	8.	20	9.	3	1日早	1日早	8
大 分		7.	28	8.	24	8.	31	並 み	2日遅	5
宮 崎	〔早期栽培 普通栽培〕	6.	25	6.	29	7.	3	5日遅	2日遅	100
		8.	18	8.	24	9.	2	並 み	並 み	0
鹿児島	〔早期栽培 普通栽培〕	6.	24	6.	29	7.	7	4日遅	1日早	100
		8.	20	8.	25	9.	4	1日早	1日早	0
沖 縄 (第一期稲)		5.	11	5.	21	6.	12	3日早	1日早	100

注：出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査の中の作柄概況調査として実施し、水稻の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所 属 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北 陸	新潟、富山、石川、福井
関 東 ・ 東 山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東 海	岐阜、静岡、愛知、三重
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四 国	徳島、香川、愛媛、高知
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖 縄	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：31,030単位区 巡回・見積り：1,789市町村

(2) 作柄概況調査

作況標本筆：10,285筆 作況基準筆：608筆 巡回・見積り：1,789市町村

4 調査事項

水稻の作付面積、は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況。

5 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

6 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

(2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

(1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

(2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

(1) 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。

なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

(2) 「穂数の多少」は、1 m²当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(3) 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(4) 「全もみ数の多少」とは、1 m²当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

(6) 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1 m²当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

(7) 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

(8) 10 a 当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 利用上の注意

本調査(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

- 米に関する累年データは、農林水産省ホームページ中の農林水産統計情報総合データベースに掲載しています。【<http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei/>】

【関連リンク】

米関係ページ：農林水産省＞食料 <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/index.html>
農林水産省＞生産 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/index.html>

米政策改革情報ページ：<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/jyukyu/komeseisaku/index.html>

全国米穀取引・価格形成センター：<http://www.komekakakucenter.jp/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房 統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：03(3502)5687
面積統計班
電話：03(6744)2045

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部
統計企画課 広報普及班
電話：03(6744)2037